

鉄道交通による 経済の発展について

清和クラブ
松林 彰



問 令和4年度JR東海は、ハイブリッド方式の車両を導入する。電化計画が取りやめになり36年あまり経過する中で、画期的なことである。高山本線のハイブリッド化や整備計画などについてどのように把握し、推進体制をつくっていくのか。

答 環境に配慮したハイブリッド方式車両導入は希少性もあり誘客の好機である。JR東海を事務局とした「飛騨観光宣伝協議会」、さらに、飛騨圏域3市1村で構成する「飛騨地域観光協会」でも、新型車両導入を契機に特別プロモーションを計画し、地域一丸となって誘客に取り組む予定である。ハイブリッド方式の新型車両 HC85系



チャレンジ!いまこそ学 校給食革命を

清和クラブ
松山 篤夫



問 学校給食に有機農産物を導入することの産業振興効果は大きい。安定的な販路を提示することで、農家は売り先の心配なく有機農業にチャレンジでき、産地としてのロット形成も円滑に進む。有機農産物の学校給食利用は、取り組み方次第で、子どもたちを核としたムーブメントを生み出し、地域は大きく転換、向上させることができると考えるが、市の考えは。

答 まとまった量を安定して仕入れることが難しい状況である。出荷量が拡大され、安定的に提供が可能になるなど、仕入れ環境の変化に応じて対応していく。



國學院大學との連携による 「持続可能な観光まちづくり」の調査研究は

清和クラブ
車戸 明良



問 観光まちづくりのモデル地区として丹生川地域で始めている取り組みの経緯と状況は。

答 大学連携センターの事業として進めている。今春に「観光まちづくり」学部が新設される國學院大学との協議により、中心市街地と奥飛騨温泉郷との間にあり、豊かな自然と盛んな農業、歴史や伝説など特徴を活かすことで、新たな展開が期待できるとし、丹生川地域をモデル選定した。今年、教授陣が地域資源の現地視察のほか、地域との座談会なども実施し、9名の先生のプロジェクトチームも編成され具体的に進んでいく。



飛騨千光寺

3回目ワクチン接種予約 の詳細な説明を!

斐翔・自民クラブ
水門 義昭



問 2回目ワクチン接種時には、予約がなかなか取れず困ったという声があった。公平に接種予約できる体制は整っているのか。

答 2回目接種を受けた18歳以上の市民に接種から8か月(一般質問時点)以上経過した市民に順次接種券を郵送する。3回目の接種は時期ごとの接種対象者数及びワクチン必要量を概ね把握することが可能となる。接種券等を段階的に送付するとともに、それぞれの送付時には十分な予約枠数を準備して案内し、いずれかの日程では予約が可能となる様にする事で、予約時の混雑を避けられると考えている。

